

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 20 日 作成

事務事業名		学童保育施設維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	青木 洋治	
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	子育て支援課	担当者名	栗木 清智	
	基本事業	58	子育てと仕事の両立支援			所属班	子ども保育班	(内線)	2158	
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市学童保育施設条例	成果優先度評価結果	11
		1	3	2	4	10571			コスト削減優先度評価結果	6
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	学校内学童クラブ施設において不具合が生じた場合に、修繕や改修を行う事業。 なお、光熱水費については、旧合志で、平成5年度に南ヶ丘小に、平成7年度に合志南小に、仕事等で昼間保護者がいない小学校低学年児童の育成指導のため学童保育室が設置され、両施設とも町負担としていた。 一方旧西合志では、運営主体の保護者会が負担しており、また、運営費には保育活動に係る経費も含んでいるため、合併協議により合併後は両町の助成方法等を統一することで調整されていることもあり、光熱水費については、平成19年度から保護者会負担とした。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	市内小学校学童クラブの施設修繕管理 ①現地確認 ②事業施行伺い ③事業委託契約伺い ④委託契約書締結 ⑤工事完了報告書、審査 ⑥委託料の支払
【主な予算費目】	修繕費
【意見や要望】	保護者会からは光熱水費の保護者会負担となることで、学童クラブが財政面で厳しくなると訴えられた。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
合志南小多目的室学童児童用棚の設置、南ヶ丘小学学童クラブ空調機室外機修繕、南小学学童クラブ室静養室改修、南ヶ丘小学学童クラブ室静養室改修、学童クラブ室畳替え(5か所)、東小学学童クラブ室窓ガラス修繕以上の学童保育施設の施設修繕を行った。	中央小学学童給排水工事、中央小学学童洗面器取替工事、合志南小学学童洗面所改修工事、合志南小学学童便所ドア取替工事、合志南小学学童便所かさ上げ工事、西合志南小学学童網戸取替え工事、その他突発的な施設修繕を計画している。
④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	(単位)
→ ア: 施設修繕数	箇所
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
学童クラブ室	→ ア: 修繕等を必要とする箇所数
	箇所
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥ 成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
・学童クラブ室を良好に維持する。 ・学童クラブ保護者会の経済的負担が軽減する。	→ ア: 修繕した割合(修繕した力所数÷修繕等が必要な箇所数) %
	箇所
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
施設修繕であるため、修繕した割合とした。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア	箇所	4	4	3	11	4	3	3
	イ								
	イ								
⑤ 対象指標	ア	施設	4	4	3	11	4	3	3
	イ								
⑥ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100
	イ								
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	一般財源	千円	100	731	708	706	994	100	100
	(A) 事業費計	千円	100	731	708	706	994	100	100
人件費	正規職員従事人数	人	4	3	3	3	3	3	3
		時間	80	140	140	140	140	140	140
	(B) 人件費計	千円	318	560	557	557	557	557	557
トータルコスト(A)+(B)		千円	418	1,291	1,265	1,263	1,551	657	657

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)
0
0
0

事務事業名	学童保育施設維持管理事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	--------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷	学童クラブから申し出のあった修繕が必要な部分については、全て対応した。
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷	少なくとも当初予算化した修繕が必要な項目については、達成する見込みであり、急遽発生した事象についても補正予算で対応する予定である。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷	施設管理事業であるため、向上余地がない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷	施設の修繕等の事業であるため他に手段はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷	平成19年度から光熱水費を保護者会負担としておりこれ以上削減余地がない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷	最低限の人員配置で業務を遂行しており今以上の削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷	当該施設を活用する放課後児童健全育成事業については、国が規定する事業であるため、その施設に不具合が出た場合に対応することは公平公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷	施設の維持管理事業であるため行政が行うべき事業であり、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成21年度については、各学童クラブからの施設修繕等について全て対応できた。今後は、築15年以上経過した施設もあるため施設修繕等の要望も増える可能性があるが、児童の安全、安心な保育のため出来る限り迅速に対応していきたい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

築15年以上経過した施設もあるため施設修繕等の要望も増える可能性がある。修繕等の内容によっては予算の増大も考えられるが、児童の安全、安心な保育のため出来る限り対応していきたい。

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

設置から十数年を経過し、施設的に修繕等が増えることが懸念される。